

メーデーの歌 (玉杯)

一
あ、メーデーよ、メーデーよ
飢餓窮乏の恐怖なき
自治労働の新社会
建設すべき我々の
志氣を天下に示すべき
一年一度の祝祭よ

二
あ、メーデーよ、メーデーよ
奪ひ去られし人類の
正義と自由を萬民に
恢復すべき團結の
威力を世界に示すべき
一年一度の祝祭よ

三
あ、メーデーよ、メーデーよ
地球をあけて共通の
プロレタリアの祝祭よ
激び誇り艱苦の
労働勝利の喊の聲
大地駆け天も呼べ

デカンショ節

花の乙女がその血で染た
犠牲も貴い労働祭
今日のメーデーを祝はぬ奴は
ダニに善く似た殺置し

八時間労働もやれない國が
聞いて呉れる一等國
おいらが居なげりや世界は開よ
間に弊れ資本主義

世界の労働者がお尻を搦へ
臭い資本主義屍で飛せ
働かない奴は喰うてはならぬ
まかぬ種なら生えやせぬ

労働祭 (諸二高の歌)

注連之助作

一、此の世の富も繁栄も
われ等が汗の土になる
われ等が手をば置く時は
世界も開きなりぬべし
汗の植ひの貴さを
いざ遊民に示さばや

二、國々國々に隔れき
賃銀奴隷の屈辱に
悲憤は同じ労働者
國の境を今日越えて
團結力を試すべく
堅き握手を交すかな

三、史を按ずればあ、茲に
○を以て築めし三十年
今日メーデーの祝祭に
金盞酒はあらざれき
乾坤のるく喊の聲
未來は我等のものなるぞ

メーデーを祝へ

此日一人の労働者も、もれないうち
示威運動に参加せよ
五月一日は労働祭
集合場所ト時刻正午

大阪中之島公園
京都岡崎公園
神戸大倉山

へ祝